

GMO INTERNET

(4784)

2024年12月期決算・戦略説明

2025年2月12日

代表取締役 社長執行役員 伊藤 正

1. GMOインターネット株式会社について

2. 成長戦略について

3. 2024年通期決算（旧GMOアドパートナーズ）

4. 業績予想・株主還元について

5. 参考資料

1. GMOインターネット株式会社について

2. 成長戦略について

3. 2024年通期決算（旧GMOアドパートナーズ）

4. 業績予想・株主還元について

5. 参考資料

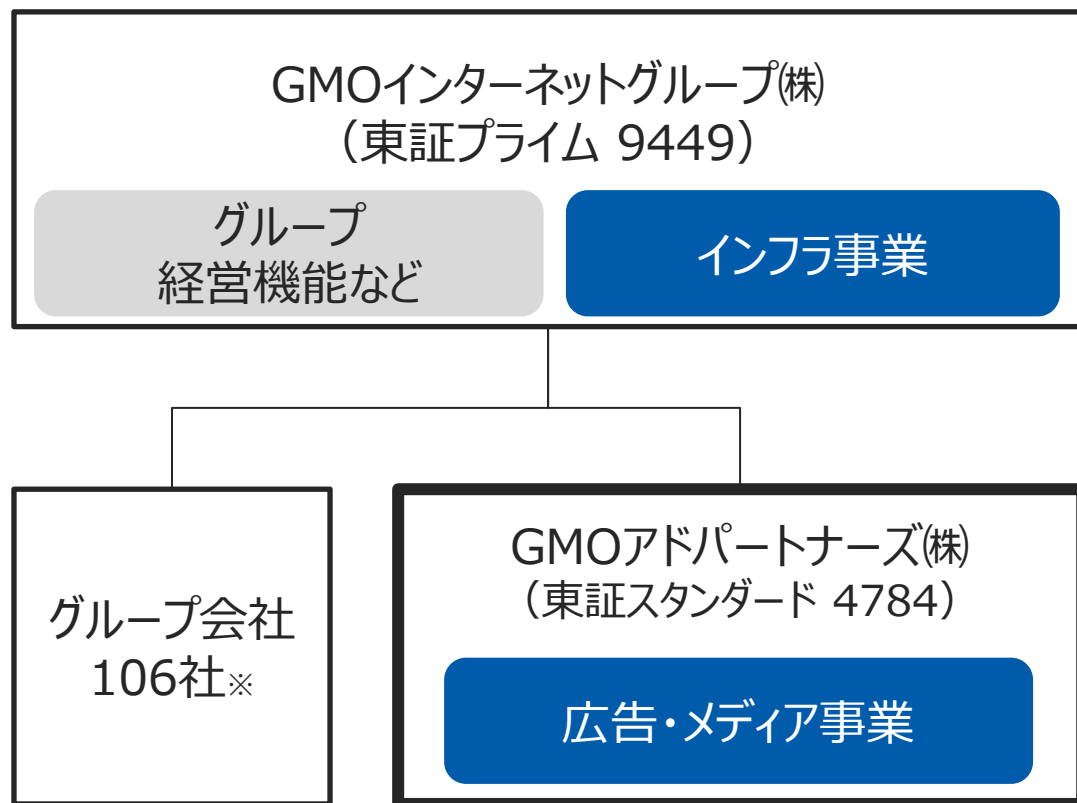
GMO INTERNET

**2025年1月1日 新体制スタート・社名変更
東京証券取引所 プライム市場に市場変更（4784）**

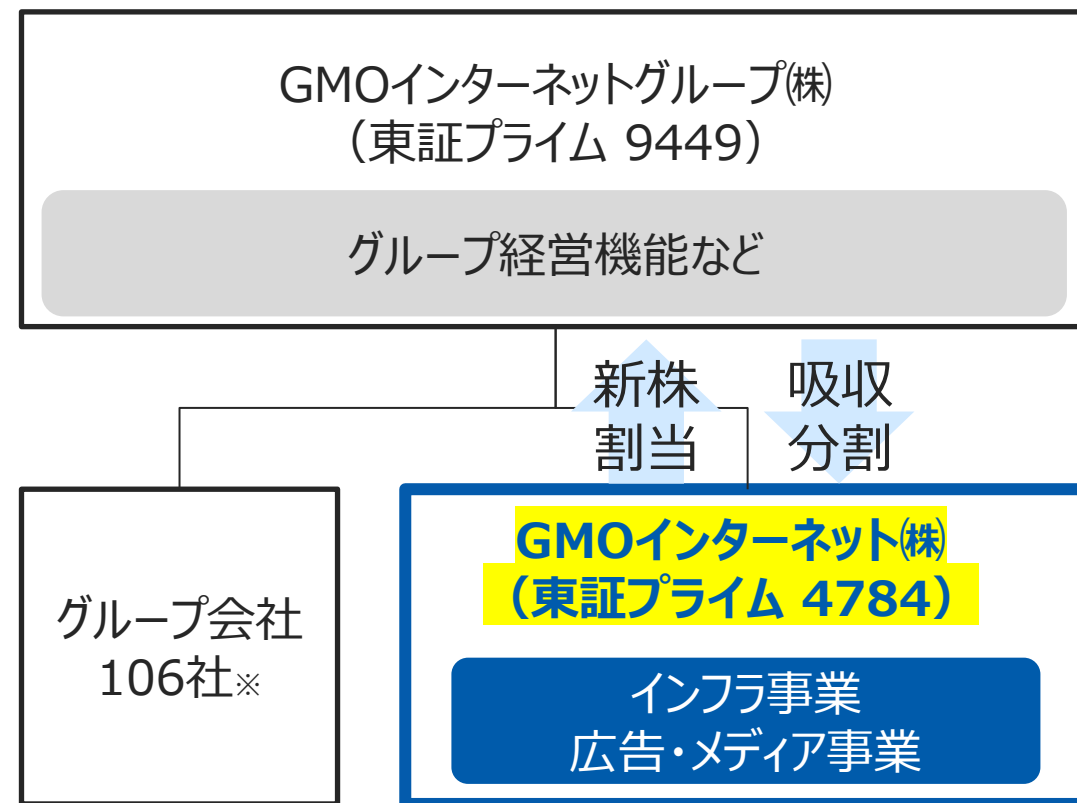
再編概要について

GMOインターネットグループ(株)の事業を、GMOアドパートナーズ(株)へ承継し、
GMOインターネット(株)に社名変更。GMOインターネットグループ(株)は持株会社化。

～2024.12.31



2025.1.1～



※2024年12月時点

パートナー (社員) 数

1178名 (2025年1月時点)

拠点

東京・大阪・宮崎・北九州・仙台・沖縄

2024年 売上高

740億円 (概算)

連結グループ会社

GMO NIKKO GMO INSIGHT

企業サイトURL

<https://internet.gmo/>

代表者

代表取締役社長 伊藤 正 代表取締役副社長 橋口 誠

代表取締役 社長執行役員

伊藤 正

いとう ただし



1974年 兵庫県神戸市生まれ 50歳（入社28年目）

1997年インターキュー株式会社※ に23歳で入社

当社の中核事業となる、ドメイン・クラウドホスティング・インターネット接続事業など、インターネットインフラ事業を統括

GMOインターネットグループ全体のインフラ部門統括として、技術革新や新たなサービスの導入、グループ間の連携強化を通じて、国内No1シェアのサービスを牽引

主な経歴

- 1997年 インターキュー(株)※ 入社
- 2004年 グローバルメディアオンライン(株)※ 取締役就任
- 2008年 GMOインターネット(株)※ 常務取締役
- 2013年 GMOインターネット(株)※ 専務取締役
- 2020年 GMOインターネット(株)※ 取締役副社長
- 2025年 GMOインターネット(株) 代表取締役就任

※現GMOインターネットグループ株式会社

本パートは
動画にてご説明しております。
こちらからご覧下さい。

- ▶ **No.1戦略（スペック・価格・自社商品）**
- ▶ **マーケティング戦略・集客力**
- ▶ **技術力・運用力**
- ▶ **AI活用による効率化**

技術力・運用力

- ▶ エンジニア・クリエイター比率**53.6%** (※) による**自社商品開発力**
- ▶ **865万顧客を支える運用力**



※2025年1月時点

セキュリティサービス強化

GMOインターネットグループのセキュリティサービスと連携

当社事業におけるセキュリティ対策サービスを強化し、独自の強みを創出



診断実績 **100** 万件突破 国内**No.1** 国内最大級のセキュリティコンテスト 2年連続**No.1** 世界最優秀のセキュリティコンテスト

あなたのWebサイトは **セキュリティ対策** 出来ていますか？

セキュリティ診断サービス
お名前.com
ネットde診断

お名前.com Naviからかんたん操作

さっそく無料で診断する >

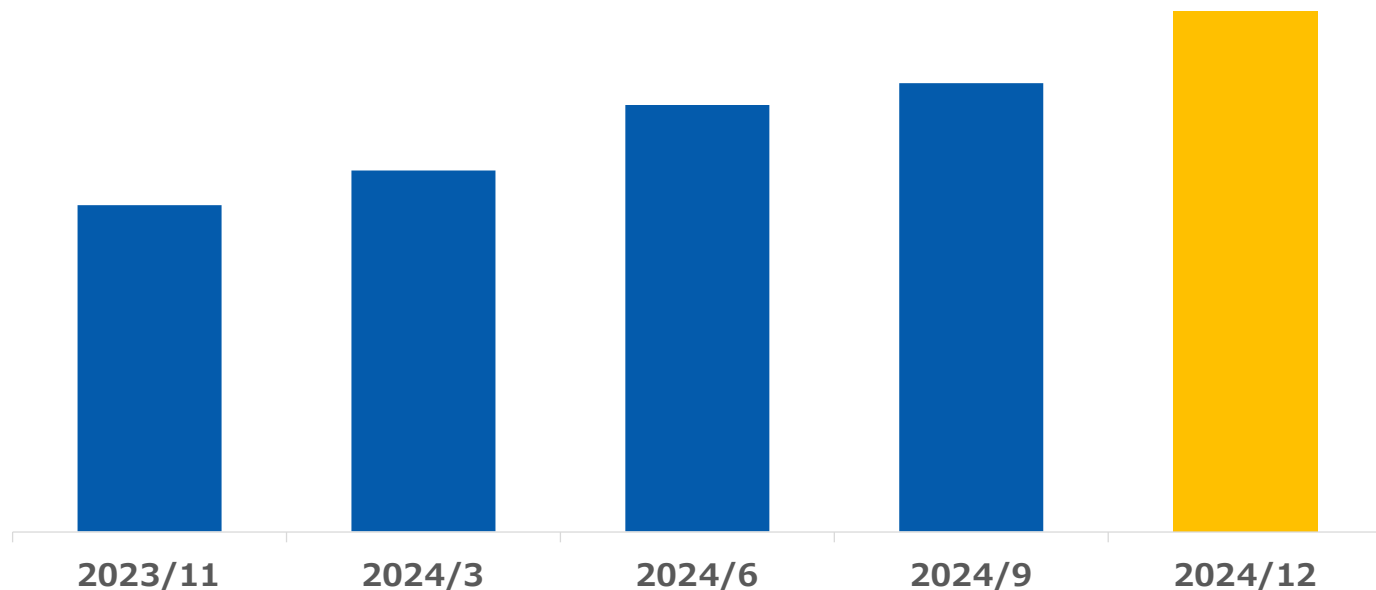
項目	リスクレベル	対策方法
ソフトウェア	A	*****
ポート	C	*****
SSL	B	*****
OS	D	*****
VPN	A	*****
WordPress	D	*****
SSH	A	*****

初月無料
&即時解約OKで
まずは気軽にお試し診断!

AI活用による効率化

- ▶ 開発業務、広告クリエイティブ制作などの業務効率化に活用
- ▶ コールセンターのAI化による業務効率化も進捗中

月間業務削減時間の推移 (※)



業務削減時間

16.1万時間/月

一人あたり

30.1時間/月

※2025/1/7 GMOインターネットグループ株式会社 プレスリリース

「GMOインターネットグループ、生成AI業務活用率が88.6%に！自社提供の生成AI検索「天秤AI byGMO」の業務利用率が、「ChatGPT Search」に次ぐ利用率」より、業務削減時間グラフを当社にて作成。当社以外のGMOインターネットグループ連結およびその持分法適用会社を含む。

無くならない、無くってはならない
かつ
継続課金の商材

契約件数 **865万件** ※

※2024年12月時点

ストック売上比率

売上高

740億円 (概算)

ストック売上比率

82.3%

契約件数

865万件

8割を超えるストック比率による岩盤ストック収益が
安定成長に寄与

1. GMOインターネット株式会社について

2. 成長戦略について

3. 2024年通期決算（旧GMOアドパートナーズ）

4. 業績予想・株主還元について

5. 参考資料

- ① 既存事業の安定・継続成長
- ② インフラ×広告メディアの事業シナジー
- ③ 新規事業
- ④ 仲間づくり (M&A)

④ 仲間づくり

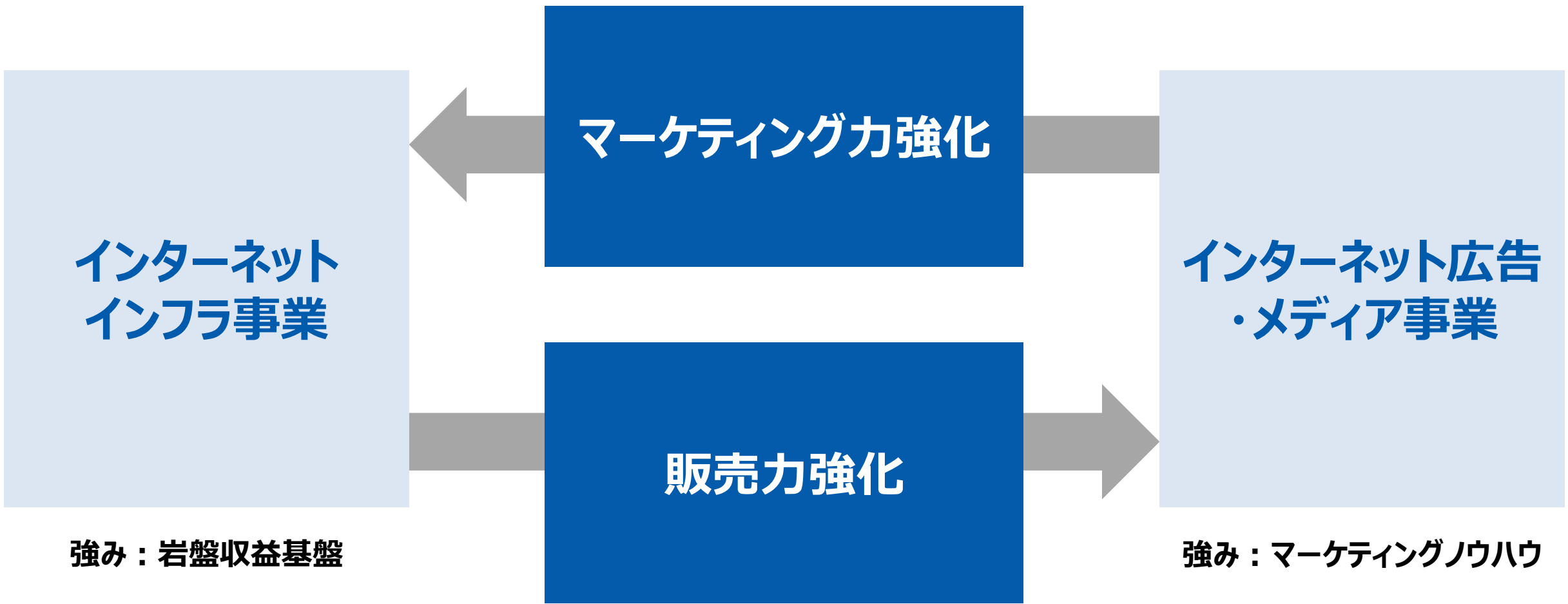
③ 新規事業

② シナジー

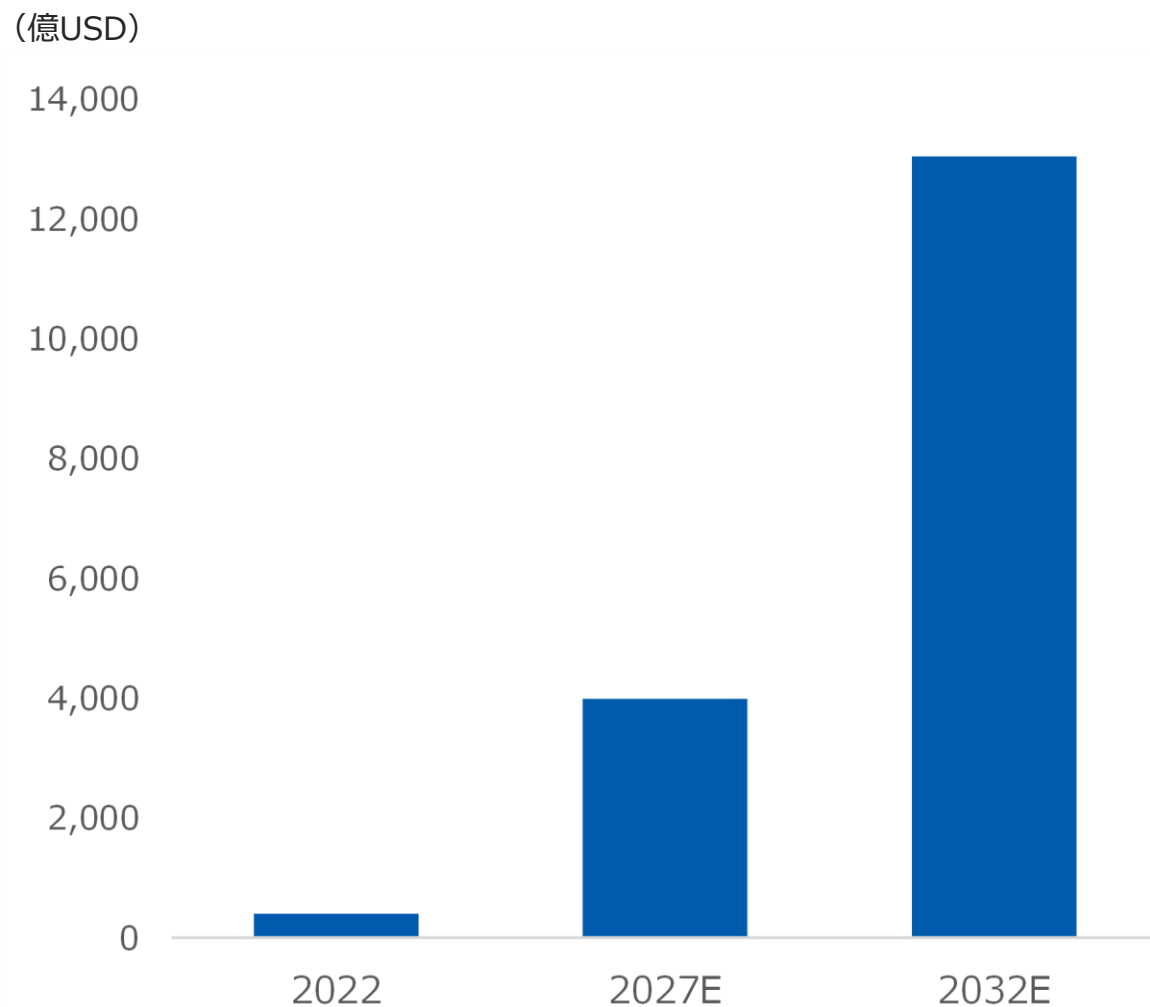
① 既存

- ▶ **No.1戦略（スペック・価格・自社商品）**
- ▶ **マーケティング戦略・集客力**
- ▶ **技術力・運用力**
- ▶ **AI活用による効率化**

インフラ×広告メディアの事業シナジー

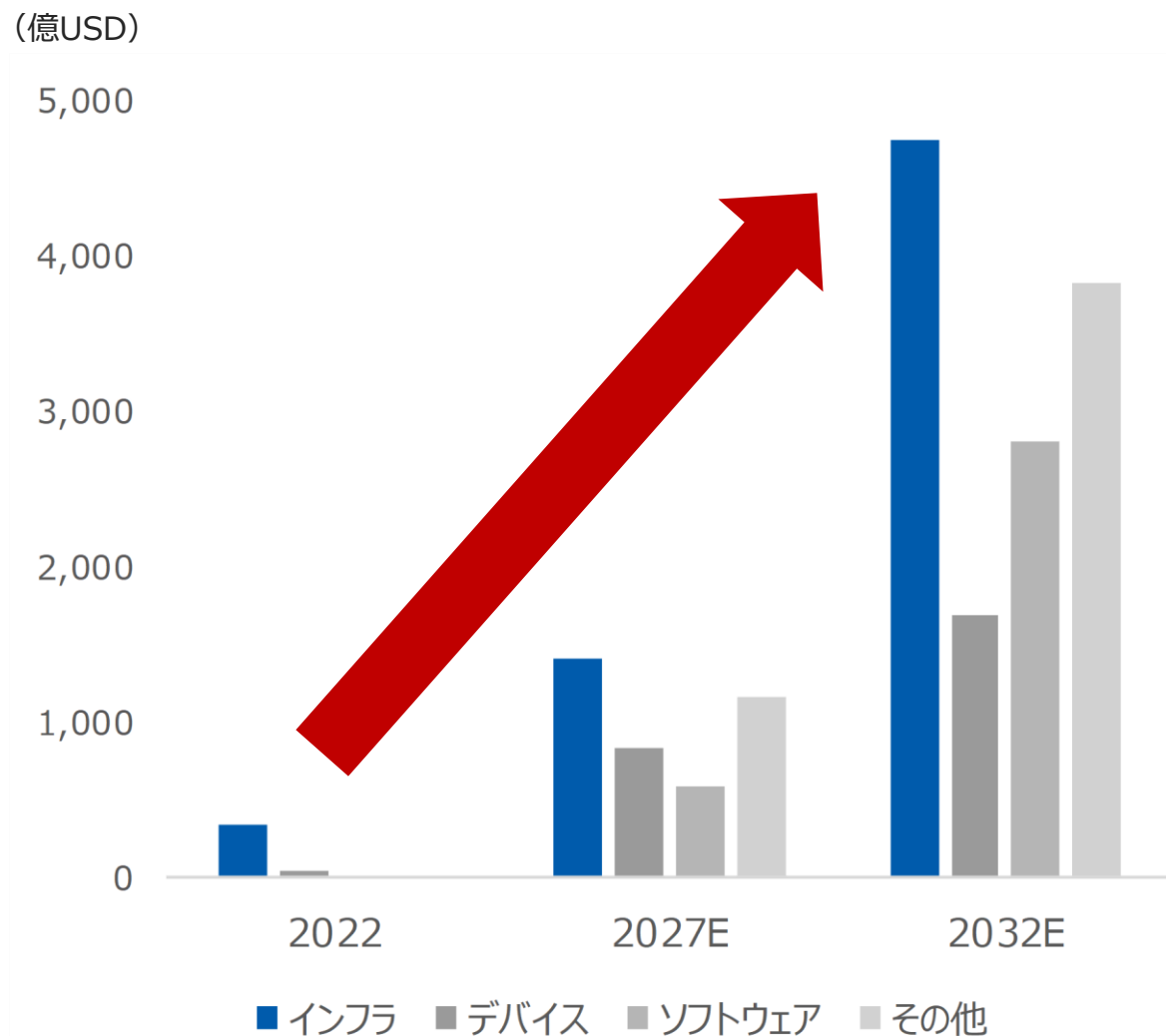


両事業がより強く



2032年
1.3兆ドル

出典：Bloomberg



AI産業で
最も伸びるのは？

▼
インフラ

出典：Bloomberg intelligence, IDC, eMarketer, Statista

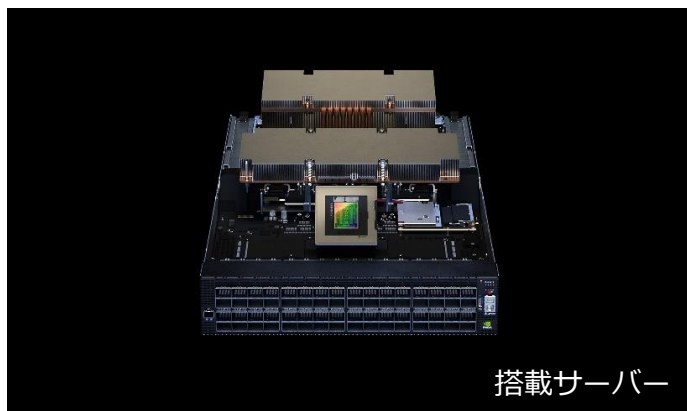


100億円規模の設備投資を実施
2024年11月22日 サービス提供開始

- ▶ NVIDIA H200 Tensor コア GPU 国内最速提供
- ▶ NVIDIA Spectrum-X 国内初採用



NVIDIA H200 Tensor コア GPU



搭載サーバー



※2024/11/12-13 NVIDIA社主催 AI Summit Japan 2024にて
NVIDIA Corporation ジェンスン・ファン CEOと撮影

- ▶ マルチノード使用時にも圧倒的なパフォーマンス
- ▶ ノード間ネットワーク帯域幅他社の約2~8倍(3,200Gbps)

オープンソースジョブスケジューラー



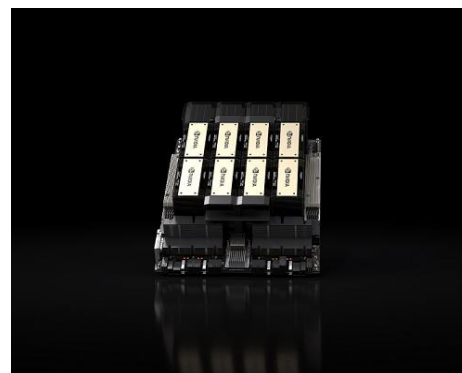
DDN社の超高速ストレージ



NVIDIA AI Enterprise



NVIDIA H200 Tensor コア GPU



NVIDIA Spectrum-X



NVIDIA推奨構成を採用

TOP 500 CERTIFICATE

The List.

GMO GPU Cloud - PowerEdge XE9680, Xeon Platinum 8480L 56C 2GHz, NVIDIA H200,
NVIDIA Spectrum-X Ethernet, Ubuntu 22.04.4 LTS

GMO GPU Cloud, Japan

is ranked

No. 37

among the World's TOP500 Supercomputers

with 38.06 PFlop/s Linpack Performance

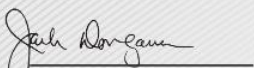
in the 64th TOP500 List published at the SC24

Conference on November 19, 2024.

Congratulations from the TOP500 Editors



Erich Strohmaier
NERSC/Berkeley Lab



Jack Dongarra
University of Tennessee



Horst Simon
NERSC/Berkeley Lab



Martin Meuer
Prometeus

世界のスーパーコンピュータランキング 「TOP500」

(24年11月19日)

世界 37位

国内 6位

商用クラウドサービスとして

国内 **1** 位

- ▶ 2024/11/22発表
- ▶ カンファレンス参加・セミナー開催によりプレセールス実施
- ▶ 商談進捗中、有力顧客の新年度予算獲得に向け営業本格化



2024/11/12-13開催 NVIDIA AI Summit Japan 2024



2025/1/28開催 NVIDIA社・DELL社・CTC社と当社の共催セミナー

積極的仲間づくり (M&A) で成長加速



テーマ

- ・ 既存事業のシェア拡大
- ・ ストック型商品の強化
- ・ グループ内の組織再編

2月10日

発行体格付取得

A-
(R&I)

今後の社債調達等に対応

1. GMOインターネット株式会社について

2. 成長戦略について

3. 2024年通期決算（旧GMOアドパートナーズ）

4. 業績予想・株主還元について

5. 参考資料

2024年通期決算（旧GMOアドパートナーズ）

- ▶ 再編費用として2.57億円を計上
- ▶ 売上高は減少も、自社商材比率の増加により営業利益は増加

	2024年 期初予想	2024年 修正予想	2024年 実績
売上高	150億円	150億円	129億円
営業利益	4.00億円	1.00億円	1.39億円
経常利益	4.00億円	1.00億円	1.51億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	2.20億円	0.55億円	▲0.04億円
1株あたり配当	6.9円	6.9円	6.9円

1. GMOインターネット株式会社について

2. 成長戦略について

3. 2024年通期決算（旧GMOアドパートナーズ）

4. 業績予想・株主還元について

5. 参考資料

2025年 通期業績予想

	2024年	2025年 (業績予想)
売上高	129億円	750億円
営業利益	1.39億円	80億円
経常利益	1.51億円	78億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲0.04億円	50億円

- ▶ **配当性向の引き上げ**
(50%_{以上} → 65%_{以上})
- ▶ **四半期配当の実施**

2025年12月期～
2026年12月期（2年間）

配当性向

プライム上場

記念配当

合計

100%

基本方針65% + 記念配当分35%

一株当たり
当期純利益

18.20円

×

配当性向

100% (65% + 35%)
(2年間) (基本配当性向) (記念配当)

||

年間配当予想

18.20円

- ▶ **865万契約がもたらす
岩盤ストック収益による
安定収益（売上の8割）**
- ▶ **GMO GPUクラウドの立ち上げ**

- ① 既存事業の安定・継続成長
- ② インフラ×広告メディアの事業シナジー
- ③ 新規事業
- ④ 仲間づくり (M&A)

④ 仲間づくり

③ 新規事業

② シナジー

① 既存

すべての人にインターネット

GMO

1. GMOインターネット株式会社について

2. 成長戦略について

3. 2024年通期決算（旧GMOアドパートナーズ）

4. 業績予想・株主還元について

5. 参考資料

		2024年
売上高 (概算)	ドメイン・レンタルサーバー (ホスティング) 事業	194億円
	インターネット接続 (プロバイダー) 事業	412億円
	インターネット広告・メディア事業	150億円
	連結消去・その他	▲17億円
	合計	739億円

※上記の売上は未監査の参考値であり、2024年のGMOアドパートナーズ連結としての実績値とは異なります。

【取締役】



取締役会長
熊谷 正寿



代表取締役
社長執行役員
伊藤 正



代表取締役
副社長執行役員
橋口 誠



取締役
安田 昌史

【監査等委員である取締役】



取締役監査等役員
岩濱 みゆき



取締役監査等役員
杉野 知包



取締役監査等役員
鮎川 拓弥

【執行役員】



副社長執行役員

山下 浩史



常務執行役員

林 泰生



常務執行役員

児玉 公宏



執行役員

菅谷 俊彦



執行役員

佐久間 勇



執行役員

伊藤 幹高



執行役員

徳永 伸一郎



執行役員

齋藤 稔

	変更前	変更後
基本配当性向	50%	65%
記念配当性向 (2025-2026)	-	35%
総配当性向 (2025-2026)	50%	100%
配当回数	年1回	四半期配当
株主優待	<ul style="list-style-type: none"> ・ GMOクリック証券 売買手数料のキャッシュバック ・ GMOクリック証券 当社株式買付手数料のキャッシュバック (上限1万円) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ GMOクリック証券 当社株式買付手数料のキャッシュバック (上限1万円)

※配当性向の向上に伴い、GMOクリック証券における売買手数料のキャッシュバックは廃止となります。

Q：流通株式比率の適合に向けた計画はどのようになっているのか

A:

- ・効力発生日時点の当社の流通株式比率は1.44%となる見込みです。
- ・プライム市場の上場維持基準における流通株式比率は35%です。
- ・当社は、上場維持基準適合のための改善期間である2026年12月末までにこれを充足する必要があります。
- ・GMO-IG（株）と協議の上、同社が保有する株式の市場売却や、当社での買取および消却などの改善策の実施を検討します。

Q : GPUクラウドの状況や今後の見通し・競合に対する優位性は

A:

- ・投資規模は100億円、経産省からの補助金は19.3億円となります。
- ・NVIDIA社のH200チップ^oを約800基調達しております。
- ・GPUチップそのものは競合サービスでも使われているものですが、ネットワークの帯域幅や、NVIDIAの推奨環境構築によるスペックの高さが強みです。
- ・単価が高くリードタイムが長い商品のため現在導入に向けた調整段階であり、本格的な売上寄与は7月以降となる見通しです。

本資料取扱い上のご注意

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2025年2月12日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

本資料に引用しております各社商標、著作物等知的財産権、並びに肖像権その他一切の権利は、当該知的財産権を有する各権利者並びにその権利の主体に帰属します。

GMO INTERNET